

農を活かした健康福祉の里づくり事業

発行日:2025 年 9 月

編集・発行:北中城村役場 農林水産課

住所:北中城村字喜舎場 426-2

電話:098-935-2260

FAX:098-935-5536

【健康・福祉の里プロジェクトとは】

- 農を中心とした「食・育・観・住」連携による健康・福祉の里づくりとして4つのテーマに関する取り組みを段階的に進めることで「北中城みらいづくり」の実現を目指します。
- 具体的な施設整備等は、4つのテーマに基づき、6段階に分けて進めていきます。
- 現在、第一～第三段階整備の事業者が決まり、第一段階整備ではバイオガス発電施設等の運用が開始しています。



第一段階整備で建設した
発電所の建物です。
生ゴミを活用した発電を行います。

■本事業で達成すべき4つのテーマ

- 1) 村農産物やエネルギーの地産地消/6次産業化商品
- 2) 農を活かした心身の健康増進
- 3) 村内外に北中城の魅力を伝える観光・体験型の場
- 4) 農を中心とした人と人との交流ある村での暮らし



「北中城村 EM ユニバーサルビレッジ」(第一段階整備)は4月1日より本運用で開業しました

- ・ 第一段階整備では、「北中城村 EM ユニバーサルビレッジ」が今年1月に試験運用を開始し、4月からは本運用で開業しました。同施設は、バイオガス発電と有機肥料の製造を行うバイオサイクルセンター、生成された電力や有機肥料等を活用して野菜等を栽培する高密度エネルギー栽培ハウス、モデル圃場、学童農園等の設備を備えています。
- ・ 今年1月の試験運用から8月末までの間に、村内から排出される再生可能資源(生ゴミ)約145トンを活用し、約13,500kwhの電力に変えエリア内循環しています。これは約1,200世帯/日分の電力に相当し、CO₂の削減にもつながっています。
- ・ あわせて、発電した電力を活用して、北中城村産の肥料の製造も開始しました。製造及び販売の資格も所だし、村内の農家様への供給も行っています。今後は村民の皆様にも気軽にご利用いただけるよう準備を進めています。
- ・ 開業前から実施していた「視察受入」と「教育連携」もご好評を頂いています。1,400名を超える視察者が先進地事例として県内外そして海外から北中城村に訪れられており、全国的に注目されています。教育連携においても、隣接する三育小学校様と農業・環境・食育などをテーマに月1～2回程度、当施設や農場を活用して農を活かした授業を継続しています。



マレーシアからの視察者



施設見学の様子



オクラの収穫風景



発電所見学の様子



